

【評議員会議事録】

開催日時：2008年7月5日（土）13：00～16：30

開催場所：東京大学理学部4号館1320号室

出席者：井上，岡村，郷田，須藤，宮川，家，坂田，佐藤，杉山，筒井，観山，山田（以上12名）

有効表決状提出者：海部，柴田，永田，渡部，池内，谷口（以上6名）

欠席者：中川，望月（以上2名）

他に理事会より國枝副理事長，花岡，高田，北本の各理事と東條事務長が出席した。

議事に先立ち，議長として杉山氏，署名人として山田，坂田両氏を選出した。

報 告

1. 前回議事録の確認

高田庶務理事より資料1により前回の議事録が説明され，確認を行った。

2. 秋季年会等について

高田庶務理事より資料2に基づいて2008年秋季年会の準備状況等について説明が行われた。総会の前に演奏会が行われること，100周年記念の展示パネルを春季年会に続いて展示する予定であることなどが紹介された。

また，次回以降の年会の開催場所についても口頭で説明が行われた。

3. 新委員会委員

高田庶務理事より資料3に基づいて次期の各委員会の委員について報告が行われた。創立100周年記念出版事業編集委員会を継続，100年史編纂委員会は解散することなどが示された。

4. PASJ General Index の制作取りやめについて

高田庶務理事より資料4に基づいて PASJ General Index の制作取りやめについて理事会で議論され承認された旨，報告が行われた。

5. 創立百周年及び世界天文年合同展示について

國枝副理事長より，資料11に基づいて，日本天文学会百周年記念および世界天文年における合同（巡回）展示について説明が行われた。全体の構成や内容についての簡単な紹介のほか，8月くらいに業者に対して展示案の提案を求め，年内には業者は決定予定であること，経費の分担や実際の執行の仕方などについて説明が行われた。

世界天文年の日本委員会との関係についての明確化が必要であるとの意見が出され，それについては，実行委員会に2人の副理事長が入っていて連絡は密に行っているとの回答がなされた。

また，家氏よりすばる望遠鏡関連で作成したビデオの提供もできる旨提案があり，使用する方向で話を進めることとなった。

その他にも使用できそうなリソースもありそうなので，その点については提案をして欲しい旨，要請があった。

6. その他

(1) 天文学用語集の改訂について

家氏より資料5に基づいて天文学用語集の改訂について説明が行われた。日本学術振興会学術システム研究センターにおける大型科研費審査の国際化に向けた，キーワード等の英語化の検討の段階で，現行の用語集では不適切と思われる表記が散見されたことがきっかけ。学会としては改訂に向けて前向きに取り組むべきではないかとの指摘が行われた。

特に教科書などで用いられる用語については学会主導でガイドラインを示すべきとの意見で一致し，とりあえずは天文学会が独自に改訂を行い，その後をどのように展開していくかは状況を見ながら判断するべきではないかとの意見で一致した。具体的な取り組みについては理事会で案を作ることとなった。

(2) SPIE2012の日本開催について

家氏より資料6に基づいてSPIE2012の日本開催について報告が行われた。2012年にSPIEの天文学に関するカンファレンスを日本で開催する方向で話が進みつつあるので、決定の際には共催などの形による協力等をお願いしたい旨、報告された。2,000人規模の会議場が必要で、既に打診を始めていることなどもあわせて紹介された。

(3) 若手研究者を対象とした海外学術研究援助に関するアンケート

宮川氏より配付資料に基づいて天文天体物理若手の会が実施を予定している、若手研究者を対象とした海外学術研究援助に関するアンケートについて説明が行われた。基本的にメールでアンケートを配布する予定であること、所属機関ごとの状況もわかるようになっているほか、援助を行っている財団等を知っているかなども聞く内容になっていると紹介された。

さまざまな意見が出されたが、本当に必要な情報が原案ではすべて集められるようになっておらず、また、わかりづらい記述・構成についても意見が出され、指摘事項を修正の上、アンケートを実施することとなった。

(4) 世界天文年について

観山氏より口頭で世界天文年に関する募金集め等について報告があった。募金集めには免税措置を考慮する必要があり、国立天文台は主催団体の一つなので、国立天文台に寄付を集めることとなったこと、天文学会の年会等でも世界天文年用のブースの設置を考えていること、また、今後はいろいろな団体への寄付のお願いに回ることが考えられるが、その場合に協力をお願いしたい旨、説明された。

(5) IAUの執行委員会報告

岡村氏より口頭で、IAUの執行委員会の報告が行われた。海部氏がPresident-electとなることが決定したこと、冥王星型天体という名称が正式に認められたことが報告された。

(6) 100周年記念出版の韓国語版作成について

岡村氏より口頭により、100周年記念出版の韓国語版作成について、その後の経過の説明が行われた。一人の編集者ではさすがに厳しいので複数人になったこと、ただし、日本語を解せる人しか対応できないので、やはり大人数は望めないこと、著作権や版権については今後の協議事項であることなどが紹介された。

(7) 宇宙基本法について

井上氏より口頭により宇宙基本法の成立に伴う現状の動きや、天文学会に対するさまざまな影響等について、秋季年会の総会において報告を行うことを考えていることが報告された。

(8) サマータイムについて

サマータイムの導入に関して学会として何か動きがないのかとの質問が複数の委員よりなされ、社会一般の問題について天文学会から何かアピールできるのかを検討する必要があるとの意見で一致し、理事会等で議論を行うこととなった。

議 題

1. 新役員候補者の推薦

高田庶務理事より資料7に基づいて新役員候補者について紹介が行われた。特に国立天文台選出の候補者について分野の偏りがあることに対する懸念は示されたが、原案どおり承認された。

今後の役員の決定方法のプロセスのあり方について議論が行われ、理事会や評議員会から就任をお願いするという形を考えていくことや、理事長を公選で選ぶなど、理事の決め方の変更について、実効性を考慮しながら理事会において議論することを申し送ることとなった。

2. 新選挙管理委員候補者の指名

高田庶務理事より資料8に基づいて新選挙管理委員候補者が示された。候補者全員が国立天文台の人だけというのは公正さを欠くのではないかとの意見が出され、協議の結果、東大天文センターの本原氏に、国立天文台の辻本氏の替わりをお願いすることで了承し、高田庶務理事より当事者の方々に了承をとることとなった。

3. 2009年度事業計画書案

高田庶務理事より資料9に基づいて2009年度事業計画書案について説明が行われ、原案どおり承認された。

4. 2009年度収支予算書案

北本会計理事より資料10に基づいて2009年度収支予算書案について説明が行われた。補助金の減少の影響が一般会計に見えている点が示されたほか、PASJの紙版をやめた場合の損得勘定や、月刊化をした場合についても予算のシミュレーションをきっちりと考えないといけない事態になっているとの認識が示された。検討事項としてPASJ編集委員長に伝えることとなった。

また、徴収不能額の増加について質問があり、主な原因は学生の会員であり、就職などの影響で現状（コンタクト先など）が追えなくなっている場合が多い旨、説明された。

岡村氏より、100周年記念出版について最悪の場合2～3巻が今年度中に出せないのではないかとの危惧がある旨、補足説明があり、また、今後10年程度、内容の改訂を継続するのであれば、そのための費用も必要である旨指摘が行われた。原案どおり承認。

5. 秋季総会議題等

高田庶務理事より資料12に基づいて秋季総会議題等について説明があった。報告事項の中に学術会議の報告、および宇宙基本法についての現状の動きについての報告を加えることで了承された。

6. その他

天文学会の法人としてのあり方や、それに対応した変化に伴う、今後の対応の仕方に関して問題が生じる可能性がないのか、複数の委員より質問があり、理事による確認が必要であるとの認識で一致し、理事会への申し送り事項となった。

次回は秋季年会中、次々回は1月24日（土）開催することとなった。なお、1月においては、各賞の選考等で時間がかかることも予想されるため、少し早めの時間からの開催を考えることとなった。会場については未定。

2008年7月24日

議長 杉山 直

署名人 山田 亨

署名人 坂田 悠